

ガーナでお絵描き  
くれよん プロジェクト 64号

いつもお届けしている報告は、絵の具やクレヨンを使った授業の様子はじめ作品を写真で紹介していますが、今回は「絵筆」を使い糊のつけすぎを改善する試みを行ない、とつてもステキな作品ができたので紹介いたします。ホワイトグルーと呼ばれるボンドを使った授業での毎回の悩みはどんなに「つけすぎないで」と注意をしても生徒は加減が判らず作品がびちゃびちゃになるほどにグルーをつけ過ぎてしまうことです。今回、グルーをつける加減が判るように協賛でいただいていた筆を使いちぎり絵を中学1年生2年生でおいこなりました。



グルーをつける時はブラシ(絵筆)を使う。ちぎった紙を押さえつける時はストローを使うと指導したところグルーをつけすぎる生徒はこれまでに比べたらかなり減りましたが、やはりまだまだ加減が判らない生徒もいました。今回このちぎり絵は初めての取り組みです。



初めてのちぎり絵は、とても楽しかったようです。ゆめ魚の縁取りをしていたものに色のついた薄紙をちぎって貼っていきました。これだとお花もできそうですよね。次回はお花でちぎり絵をやってみたいと思います。



協賛 ぺんてる株式会社様

2021年8月9日 TOSHIKO